

令和8年度 熊本県中学生新人ソフトテニス大会(団体戦)

・病気等やむを得ない理由による選手、監督、コーチの変更については、「変更届」を本部で受け取り、監督会議開始前までに提出する。選手やコーチの追加登録は認めない。棄権する場合も、監督会議開始前までに本部へ伝える。

・朝の練習は、コート割り振り表(下の表)に従って、8:00から7分間の4交代で行う。

女子	1	2	3	4	5	6	7	8
8:00 ~ 8:07	ソフトテニスを楽しむ会	八代第二	あさぎり	相良	湯前	宇土鶴城クラブ	松橋	益城
8:07 ~ 8:14	出水	城南	力合	出水南	白川	龍田	武蔵	井芹
8:14 ~ 8:21	熊本西原	長嶺	湖東	東野	合志楓の森	菊陽	七城	阿蘇
8:21 ~ 8:28	本渡	大矢野	稜南	山鹿STC	なんかんクラブ	たまなSTC		

男子	A	B	C	D	E	F	G	H
8:00 ~ 8:07	八代第七	あさぎり	水上学園	湯前	木山	鶴城	甲佐	益城
8:07 ~ 8:14	KSA1962	日吉	出水南	白川	託麻	帯山	湖東	東部
8:14 ~ 8:21	高SPO阿蘇	武蔵ヶ丘	合志楓の森	菊陽	大津北	五霊	北部	長嶺
8:21 ~ 8:28	長洲	たまなSTC	ASTYA	苓北	大矢野	本渡		

・8:20の受付終了後、すぐに代表者会議を男女それぞれの本部前で行う。

・開会式は実施しない。競技開始は、8:45とする。

【競技注意事項】

- ① 競技は、(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスルールブック及び本大会要項、競技注意事項に従って行う。
なお、服装等の規定は、熊本県中体連大会の要項に準じる。
- ② 熱中症対策を十分に行い、参加者が体調を整えて試合ができるように水分補給等の配慮をする。
* マッチ中、ベンチに「水筒、日傘、うちわ、電動ファン、コールドスプレー、塩分タブレット、クーラー、キーパー等」の持ち込みを認める。
* マッチ中は、ベンチでの日傘の使用を認める。ただし、傘の色は、日光などを反射して試合に支障をきたす恐れがあるもの(白・銀色等)は認められない(コート外の応援者・観戦者も、これに準ずる)。
* チェンジサービス時、ファイナルゲームのチェンジサービス時に審判台付近での給水を認める。その際の給水容器はあらかじめ選手が自分で審判台の下に置いておくものとする。また、給水のみを速やかにを行い、打ち合わせなどは行わない。
* 気温等を考慮して、ヒートルールを適用する場合もある。適用する場合は、本部から放送で伝える。
「会場での暑さ指数(WBGT)が原則31以上となり、ファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に3分間のテニスコート内(アンパイヤーの目の届く範囲)での休憩を許可する。」(競技規則第46条)
- ③ 落雷事故の防止については、以下に示す対応を徹底する。
・厚い黒雲が頭上に上がった際には、雷雲の接近に注意する。
・かすかでも雷鳴が聞こえる場合は落雷の危険があるため、すぐに安全な場所(鉄筋コンクリートの建物、自動車、バスの内部)に避難する。
・気象庁ウェブサイトにおいて、雷注意報等の発表状況や、雷発生の可能性の高い地域が確認できる「雷ナウキャスト」などの情報の活用も行う。
- ④ 3ペアによる点取り法で勝敗を決める。リーグは必ず3ペアとも試合を行い、トーナメントは2点先取とする。ただし、6名に満たないチームは、必ず1番、2番に正規のペアを出すものとし、3番はオープンでゲームを行う(0-3で負け)。
- ⑤ 予選リーグは、5ゲームマッチで行う。決勝トーナメントは、進行、天候等も考慮して、5または7ゲームマッチで行う。
- ⑥ 使用球は公認球(白)を使用する。(女子:アカエム、男子:ケンコー)

- ⑦ ベンチは小さい番号を審判台から見て左側とする。
- ⑧ 選手、監督、コーチのベンチは試合をしているコートの中央とする。2面展開で行う場合は、各チームでベンチを移動する。2面展開から1面になった場合は、ベンチをもとに戻す。

【1面の場合】



【2面の場合】



- ⑨ 監督・コーチのベンチ入りについては、監督1名・コーチ1名の最大2名までとする。
- 「原則として監督は必ずベンチに入る（例外として認められるのは、2チーム以上の監督を兼ねていて試合が重なりベンチ入りが不可能な場合のみ）。
- ⑩ 監督またはコーチは、その学校の教員、部活動指導員、クラブチーム責任者、中体連に登録してあるコーチを原則とし、日本ソフトテニス連盟に登録し、指定のゼッケンを上半身の見える位置に着けている方のみとする。
- ⑪ コートに入ってから監督、コーチからの指導は行わず、すぐに整列し、試合を始める。
- ⑫ 試合前の挨拶は、審判、監督、コーチ、選手（1番目の選手は、ラケットを持って試合する服装）が整列して行う。
リーグ戦は、挨拶の前に監督がスコアシートにオーダーを記入し、確認のためオーダー用紙を交換する。
トーナメントでは、スコアシートの作成は本部で行う。よって、オーダー用紙は、2部作成し、1部を本部へ提出し、もう1部は、コートでのあいさつ時に相手監督と交換する。
- ⑬ 監督・コーチが選手へアドバイスする際は、ルールを守る。
- * 監督、コーチは、マッチ中はベンチに座っておく。
 - * アドバイスは、チェンジサイズ時やファイナルに入る前のみとする。時間を守る。その他のタイミングで選手にアドバイスする行為は認められない。
 - * マッチ中にベンチに入っている監督、コーチ以外からの指示・アドバイス等は、固く禁止する。
 - * マッチ中に「質問」できるのは監督、プレーヤーのみとする。
- ⑭ 勝ったチームの監督は、スコアシートを確認して、「勝者サイン」に監督（自分）の氏名を記入して、試合終了後速やかに本部まで届ける。
- ⑮ 試合をしていないコートでの練習は、認められない。
- ⑯ 試合が連続する場合は、10分程度の間隔をとって、試合を進めていく。
- ⑰ 審判については、今大会も選手が担当する（公認審判員ワッペンを左胸に着用して行う）。選手が聞き取れる声の大きさにコールすることを心がける。また、以下に示すことを特に注意する。
- * 試合開始前の挨拶時における「オーダーの確認」については、選手名を確認することは省略して、「1番、2番、3番」と言って、手を挙げさせる程度の確認を行う。
 - * サイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る場合は、ポイント終了から副審は計時を開始し、40秒で1回目のホイッスルを鳴らす、次に60秒で2回目のホイッスルを鳴らす。それでも動きがなければ「レッツ・プレイ」とコールする。「レッツ・プレイ」に従わない場合は、警告（イエローカード）を与える。

「サイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る場合は、ポイント終了から1分以内に次のポイントを開始する態勢に入るものとする。」(競技規則第17条の一部抜粋)

＊ タイムについては、「プレーヤーに突発的な身体上の支障が生じ、プレーの継続ができなくなり(マッチ開始前の練習中を含む)、これを正審が認めた場合。ただし、同一人が1回につき5分以内とし、かつ同一マッチで2回以内とする。」(競技規則第39条)となっている。

＊ 予選リーグは、リーグで試合をしないチームで担当する(進行表に記載)。

＊ 決勝トーナメントは、そのコートの直前の試合で負けたチームにお願いする。

＊ 決勝トーナメントの1試合目は、そのコートでの予選リーグ最終試合の負けたチームが担当する。なお、そのチームが決勝トーナメントに進出した場合は、勝ったチームが担当する。

＊ ベスト8のチームで、「準決勝、決勝、3位決定戦」の審判を担当する(3位決定戦は実施しないこともある)。

＊ 次の試合の選手はもちろん、審判もすぐにコートに入れるよう、コート付近で待機しておく。

⑱ 進行表に従って大会を進めていくが、進行の状況により、コートの変更、使用コート数の変更(2面、3面)もある。決勝トーナメントは、対戦が決まった試合から順次行う。

⑲ 通路等でのボールを使った練習は認められない。壁打ちコートについては、一般のお客様も使用されるので、節度をもって、譲り合いながらの使用を認める。

【担当者】

本日の大会運営は、熊本県中学部委員会理事を中心に、宇城上益城・八代水俣芦北・人吉球磨地区の指導者の方々にもご協力いただきます(必要に応じて声をかけます)。

	競技責任者	レフェリー
女子	鋤先良浩(八代第二)、津山正行(白川)	長崎辰美(三加和)
男子	安達優喜(大津北)、日根野聡(あいあいスポーツクラブたらぎ)	岡本睦(七城)

【その他】

① 会場の使用方法(ゴミの持ち帰りなど)、応援マナーなどは、監督の責任とする。

② 本大会に関わる映像等の広報についての活用と一切の権利については、熊本県連盟に帰属し、承諾するものとする。本大会に関わる動画・静止画撮影については、別紙(熊本県ソフトテニス連盟主催・共催大会における動画・静止画撮影について)で確認して遵守する。

③ この大会の上位2チームは、「第41回九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会の団体の部(12月27日)」への出場権を得る。

④ この大会の予選リーグ2位以上(決勝に進んだ2チームを除く)は、「第41回九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会の団体の部(12月27日)」の第3枠を決める「強化トーナメント」に参加できる。該当チームには、「強化トーナメント」に関する書類を担当者より配付する。

⑤ ベスト4以上に入賞したチームについては、熊本県ソフトテニス連盟のホームページ、熊本日日新聞社、ソフトテニスマガジン社等に、大会結果とともに写真が掲載される場合がある。そのため、該当チームの監督は、写真の掲載について、選手本人及び保護者の承諾を得ておく。写真は表彰式終了後に撮影する。